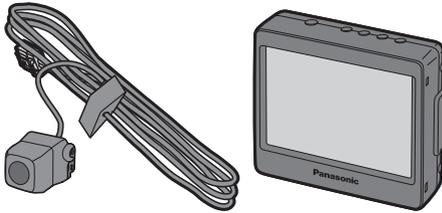


# Panasonic®

## 取扱説明書

リヤビューモニターシステム

品番 **GP-PD107A**



### 保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

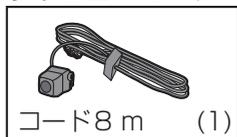
- 本説明書および接続する機器の説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

# もくじ

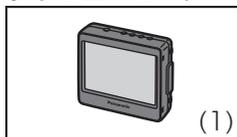
内容物の確認.....	2	リヤビューモニターの取り付けかた....	12
安全上のご注意.....	3	配線のしかた.....	14
ご使用前に.....	7	コードの引き回し(例).....	16
使用上のお願い.....	7	リヤビューモニター各部の名称とはたらき....	18
免責事項について.....	7	リヤビューモニターの調整.....	19
本機のお手入れ.....	8	故障かな!?!.....	20
取り付け、配線の前に.....	8	仕様.....	21
リヤビューカメラの取り付けかた.....	9		

## 内容物の確認

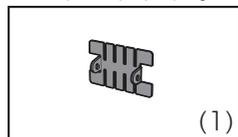
### リヤビューカメラ



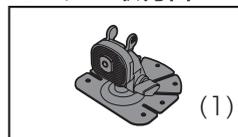
### リヤビューモニター



### カメラブラケット



### モニター取付台



### 六角レンチ



### 接続コード



### 圧着式コネクター



### コードレール



### 束線バンド



### ワッシャー付きねじ



### タッピングねじ



### コードクランパー



### コードクランパー

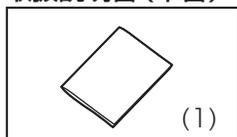


### クリーナー

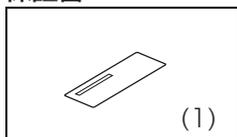


### ■添付品

#### 取扱説明書(本書)



#### 保証書



万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

# 安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

「モニター」の記述は「リヤビューモニター」を表し、「カメラ」の記述は「リヤビューカメラ」を表します。

## 警告

### 配線・取り付けに関するご注意

#### DC12 V $\ominus$ アース車で使用する



本機はDC12 V $\ominus$ アース車専用です。DC24 V車(大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。火災や故障の原因になります。

#### 取り付け・アース配線などに保安部品を絶対に使わない



車の保安部品(ステアリング、ブレーキ系統やタンクなど)のボルトやナットを使用すると、制動不能や発火、事故の原因になります。

#### 指定に従って配線・取り付けをする



説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと、火災や事故の原因になります。

#### 配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーの $\ominus$ 端子をはずす



バッテリーの $\ominus$ 端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

#### コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

#### 取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する



車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

**警告****配線・取り付けに関するご注意****エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付け・配線しない**

エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

**高温になる場所などに取り付けない**

直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

**安全のため、必ずサイドブレーキコードを正しく配線する**

説明に従って正しく配線しないと、安全機能が働かなくなり、交通事故の原因になります。

**分解・修理、および改造をしない**

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。火災や感電、事故の原因になります。

分解禁止

**ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない**

あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

**運転や視界を妨げたり、同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない**

運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ブレーキペダル付近など）、前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

**強い衝撃を与えない**

落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障で火災の原因となる場合があります。

**ご使用に関するご注意****機器内部に水や異物を入れない**

内部に金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。



## 警告

## ご使用に関するご注意

## 必ず目視による安全確認をしながらゆっくり後退する



カメラの映像は実際の距離と感覚が異なります。また、映し出す範囲には限界があります。画面だけでなく、必ず目視による安全確認をしながらゆっくり後退してください。人や物にぶつかり、事故の原因になります。

## 必ず規定容量のヒューズを使用する

## また、交換は専門技術者に依頼する



規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご依頼ください。

## 故障や異常な状態のまま使用しない



万一、故障（画像が映らない、音が出ないなど）や異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。そのまま使用を続けると、火災や感電、事故の原因になります。



## 注意

## 配線・取り付けに関するご注意

## コードを破損しない



傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱器具へ近づける、車の高温部に接触させるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、事故の原因になることがあります。

- 車体やねじ・可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように、引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

## 配線・取り付け/取りはずしは、専門技術者に依頼する



配線・取り付け/取りはずしには、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

## 必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

## リビューカメラのコードに傷をつけない



傷の部分からコードを通してカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ、火災や感電、故障の原因になることがあります。

 **注意****配線・取り付けに関するご注意**

リビューカメラのコードは、水が浸入しないように車内へ引き込む



雨や洗車などの水が車内に浸水すると、火災や感電の原因になることがあります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない



傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

はずれたり・落下しないようにしっかり取り付ける



取り付け場所の汚れやワックスなどをきれいに拭き取り、確実に固定してください。再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり、走行中にはずれて落下し、事故やけがの原因になります。ときどき接着や取り付けの状態（ねじがゆるんでいないかなど）を点検してください。

カメラブラケットをフッ素樹脂処理されたボディやガラスにはり付けしないでください



フッ素樹脂面や再塗装された塗装面にはり付けますと走行中にカメラがはがれて落下します。  
またブラケットをはがすとボディを傷めることがあります。

**ご使用に関するご注意**

車載用以外には使用しない



車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火・感電やけが、故障の原因になることがあります。

自動洗車機（高圧水）による洗車をしない



カメラ内部に水が入ると、火災や感電、故障の原因になります。また、脱落して事故やけがの原因になります。

レビューモニターを過信しない

運転をするときは、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認してください。



一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら、慎重に後退してください。とくに、周囲に駐車している車や障害物などに接触しないように注意してください。

カメラが写し出す映像と実際の状況は異なることがあり、また写しだす範囲には限りがあります。

モニターだけを見て運転すると、事故やけがの原因になります。

## ご使用の前に

バックする際は、必ず目視で後方を確認してください。

- 本製品は鏡像タイプの（バックミラーやサイドミラーと同様に映す）後方確認用カメラです。
- 本製品はドライバーの後方視界を補助するためのもので、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。（物体の有無を認知できる目安は、カメラから3 m離れた場所で一辺が20 cmの立方体の物体です。）
- 本製品は広角レンズを使用しておりますので、近いところは広く、遠いところは狭く映り、実際の距離感とは異なる場合があります。

## 使用上のお願い

エンジンをかけてご使用ください。

- エンジンを止めた状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗します。

悪路、段差の厳しい路上を走行するときは、モニターをモニター取付台から外してください。

- そのまま使用すると、モニターの脱落の原因になります。

定期的に取り付状態を点検してください。

- 安全のため始業点検時に、必ず、カメラブラケット、取付台などにガタ付きやねじのゆるみがないかを点検してください。
- ねじのゆるみや、カメラブラケットがはがれていないことを確認してください。
- コードを車内へ引き込んでいる箇所の防水ゴムがゴムパッキンに平行にあたっていることを確認してください。

太陽光を直接長時間撮像しないでください。

- 焼き付け現象が残ることがあります。

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わないでください。

- 画面ノイズや誤作動の原因になる場合があります。（携帯電話や無線機は、本機から離してご使用になることをお勧めします。）

液晶パネルについて

- 液晶パネルを強く押さないでください。強く押したり、落下させたり、強い衝撃を与えると、破損することがあります。
- 液晶パネルを上向きにして、ダッシュボードの上に放置しないでください。高温または低温になると、液晶パネルが化学変化を起こし、故障の原因となります。（保存温度：- 20℃～+ 80℃）
- 液晶パネルは特殊加工されていますので、指で触れないようにしてください。指紋が液晶パネルにつくと、映像が見えにくくなる場合があります。

## 免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本製品の保証書は、当該製品を業務用の車両（バス・トラック・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象になりません。

# 本機のお手入れ

- アルコール・ベンジン・シンナー・ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因になります。
- 磨き粉などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因になります。
- レンズが汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布、固い布で強くこするとキズの原因になります。
- 液晶パネルは、柔らかいクロスで、パネルにキズなどがつかないように軽く拭いてください。



使用しない

## 取り付け、配線の前に

配線・取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

- 取り付ける前に内容物を確認してください。
- 取り付けには、一般工具、布きれなどが必要です。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法があった工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線されていること、および車の電装品が正しく動くことを必ず確認してください。

### 安全に正しくお使いいただくためのお願い

- 安全のため、必ずバッテリーの⊖端子をはずしてから作業してください。
- 必ず付属品を使用し、説明に従って正しく設置・配線してください。
- 取り付け・配線等に、保安部品（ステアリング・ブレーキ系統、タンクなど）のボルト・ナット・ビスなどを絶対に使わないでください。
- DC 12 V⊖アース車で使用してください。
- 分解・修理、および改造をしないでください。
- コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回してください。
- 安全のため、必ずサイドブレーキコードを接続して使用してください。
- コードを傷つけたり、挟み込むなど破損しないように引き回してください。（ドアやシート移動時など）
- 運転や視界の妨げになる場所に絶対に取り付けしないでください。
- エアバックのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けしないでください。

# リビューカメラの取り付けかた

**取り付ける前に** 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭きとってください。

あらかじめ仮接続・仮止めして、取り付ける位置を決めてください。貼りなおすと粘着力が低下します。

- 取り付ける位置により、使用するねじ穴と調整できる角度が異なります。角度調整して、必要な範囲が見えることを確認してください。(貼りなおしできません)
- カメラが車体やリヤワイパーにあたらないように取り付けてください。

## ■しっかりと取り付けるために

- 雨天時は野外で作業を行わないでください。
- 気温が低いときは、車内ヒーター、デフォッガー、ドライヤーなどで接着面を温めてください。
- 湿気をドライヤーなどで十分に乾かしてください。設置面に汚れや水気があると接着力が低下して、はがれる恐れがあります。
- 取り付けたあと、24時間以内は雨にぬらしたり、水をかけたり、引っ張ったり、無理な力を加えたりしないでください。

## お知らせ

- **キャップを外したままの使用は、国土交通省の定める保安基準\*に抵触する場合があります。キャップを付けて使用してください。**

※ 道路運送車両の保安基準

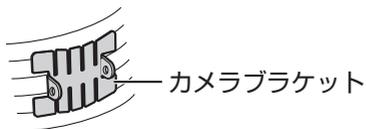
第18条 「車枠及び車体」細目告示 第1節 別添20 「外装の技術基準」

- フッ素樹脂処理された(水滴や泥水などをはじく)塗装面やガラス面、再塗装された面には貼り付けられません。

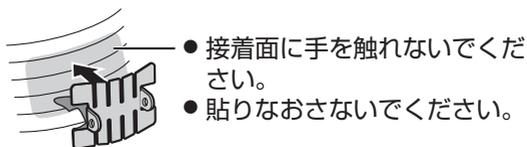
# リビューカメラの取り付けかた

## ① カメラブラケットを車体のガラス面または塗装面に取り付ける。

- ① 取り付ける面に合うように、カメラブラケットを整形する。  
(裏紙をはがさない)



- ② 裏紙をはがして、カメラブラケットをしっかりと密着させる。



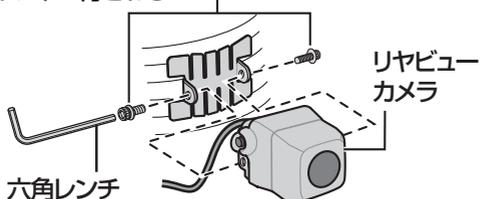
## ② カメラ本体を、カメラブラケットに取り付ける。

カメラを取り付ける位置により、使用するねじ穴と調整できる角度が異なります。

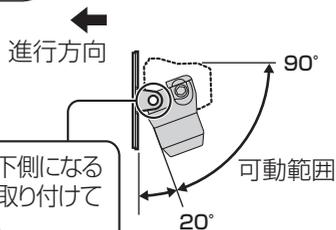
### ねじ穴を変更しない場合

ブラケットにねじで固定する。

ワッシャー付きねじ

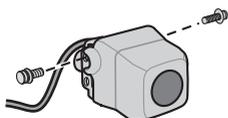


### 側面図



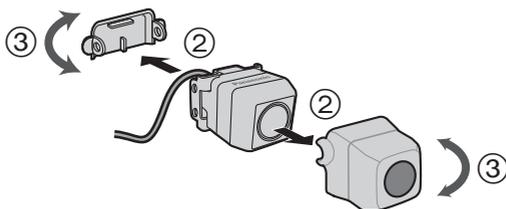
### ねじ穴を変更する場合

- ① キャップ固定ねじをはずす。

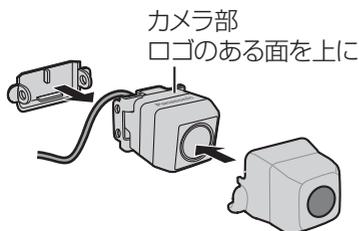


- ② 背面カバーとキャップをはずす。

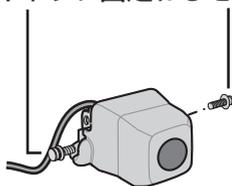
- ③ 背面カバーとキャップの上下向きを変える。



- ④ キャップをカメラ部にかぶせ、背面カバーと合わせる。

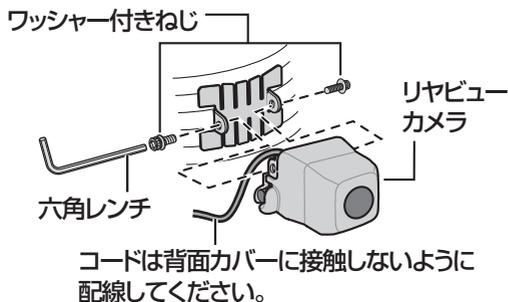


- ⑤ キャップ固定ねじをつける。



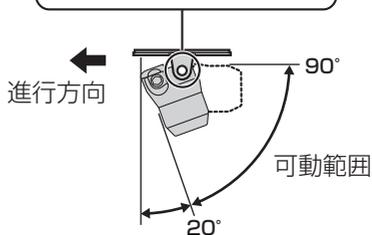
ねじ穴の位置を間違えないようにしてください。

- ⑥ ブラケットにねじで固定する。



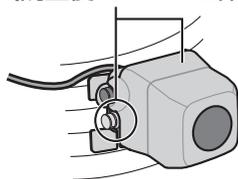
側面図

進行方向とは反対側になるねじ穴へ取り付けてください。



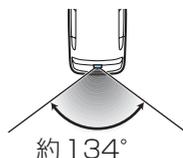
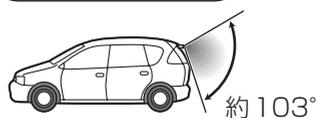
- ③ バンパーまたは車両後端部がモニターの下端に映るように、カメラの角度を調整する。

六角レンチでねじをゆるめて、カメラの角度を調整する。  
(調整後、しっかりと締める)



バンパーまたは  
車両後端部

カメラの視野範囲



# レビューモニター取り付けかた

## 取付位置について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準の改正(平成17年1月1日)に伴い、下記の範囲内の視界を確保することが義務付けられました。

ダッシュボード上に機器(オンダッシュモニター、ポータブルカーナビゲーションなど)を取り付ける際は、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。

### 前方視界基準

#### ■対象車両

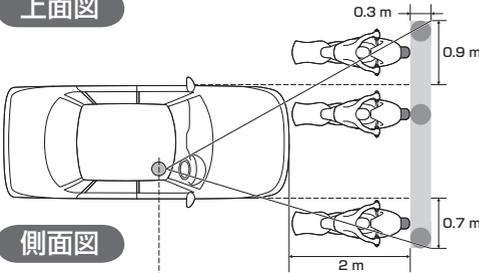
- ①専ら乗用の用に供する自動車(乗車定員11人以上のものを除く)
- ②車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

#### ■基準概要

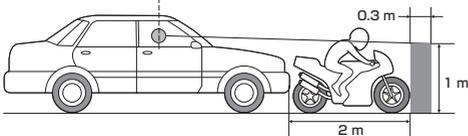
自動車の前方2 mにある高さ1 m、直径0.3 mの円柱(6歳児を模したもの)を鏡等を用いず直接視認できること。

※図は右ハンドル車の例です。左ハンドルの場合は、左右逆になります。

### 上面図



### 側面図



## 取り付ける前に

レビューモニター本体を取付台に仮止めし、取り付ける位置を確認してください。貼りなおすと粘着力が弱くなります。

- 付属のクリーナー(ダッシュボード用)で設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。

## 取付位置について

- 付属の取付台を使用し、はずれたり落下しないように、しっかり取り付けて安定させてください。
- 下記のような場所には絶対に取り付けしないでください。落下する原因になります。

●貼付面全体が密着しないような強い曲面



●不安定な場所



●約30°以上傾いた場所(推奨15°以下)

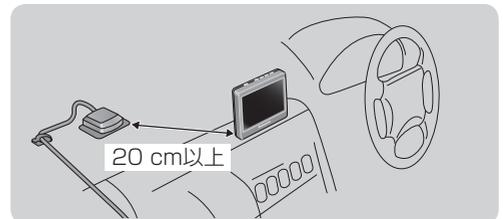


●垂直な面



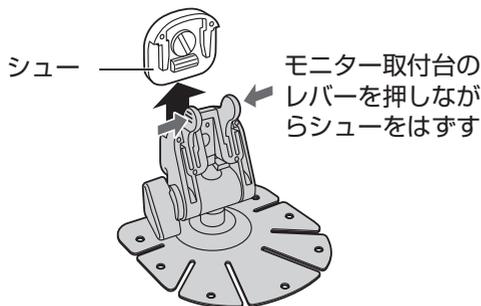
取付台の破損に至る場合もあります。

- ETCを搭載している場合は、ETCのアンテナの近くに設置しないでください。また、設置後、イグニッション・スイッチをONにし、ETCが作動することを必ず確認してください。

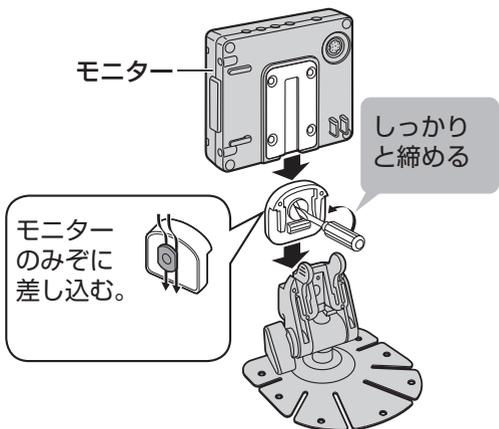


① モニターをモニター取付台に仮止めし、取り付け位置を確認する。

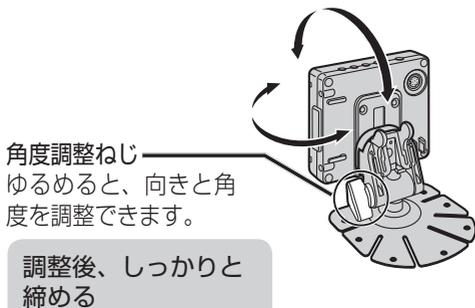
① モニター取付台からシューを取りはずす。



② シューをモニターに差し込み、モニター取付台に取り付ける。



③ 取り付けの高さや向きを調整する。

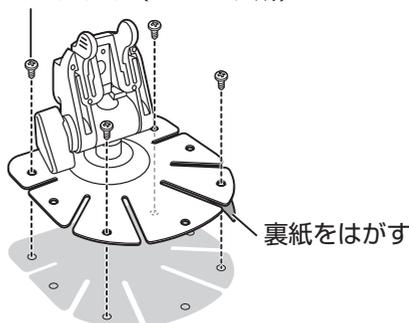


④ モニター取付台からモニターをいったん取りはずす。

② モニター取付台をダッシュボードに取り付ける。

- モニター取付台を設置面に強く押し付けて、確実に密着させてください。
- 安全のため、付属のねじで固定してください。(ダッシュボードに穴が開くことをご了承ください。)

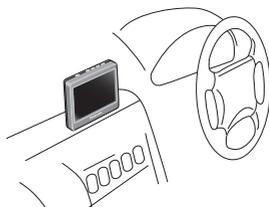
タッピングねじ (4～5ヶ所)



- 粘着力を強くするため、モニターを取り付けずに24時間以上放置してください。
- ダッシュボードが平らでないときはモニター取付台をダッシュボードの形状に合わせて曲げてください。

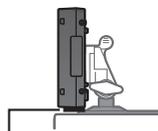
24時間以上経過したら...

③ モニターをモニター取付台に取り付ける。



ダッシュボードにモニターが近接するときは、振動でノイズが発生する原因になります。市販のクッション材などを貼り付けてモニターを安定させてください。

一取付例一



市販のクッション材など

# 配線のしかた

リヤビューモニターとリヤビューカメラの接続によりシフトレバーをリバース (R) に入れたとき連動して、カメラからの映像を自動的に画面に表示できます。

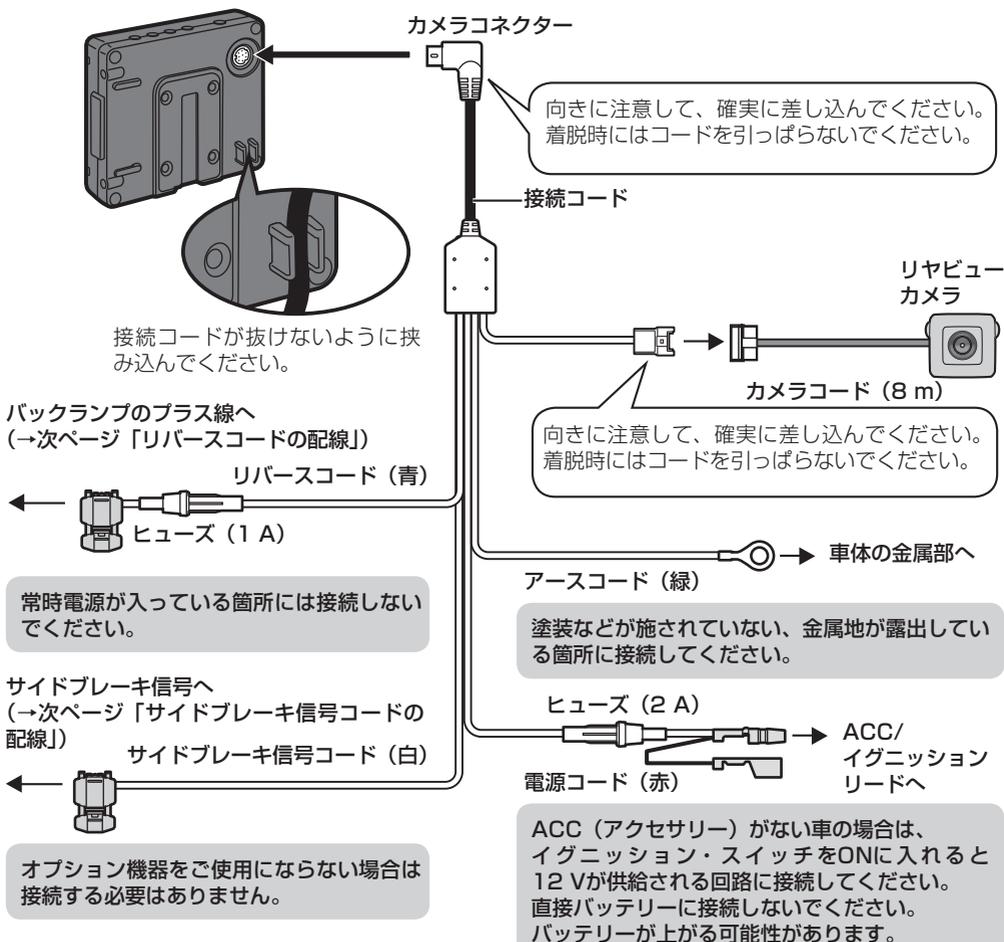
● 車種によって、別売のコードが必要な場合や接続できない場合があります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。

## お願い

- 接続コードやカメラコードは延長しないでください。画面にノイズが出たり故障の原因となります。
- 圧着式コネクタは、指定の箇所以外に使用しないでください。

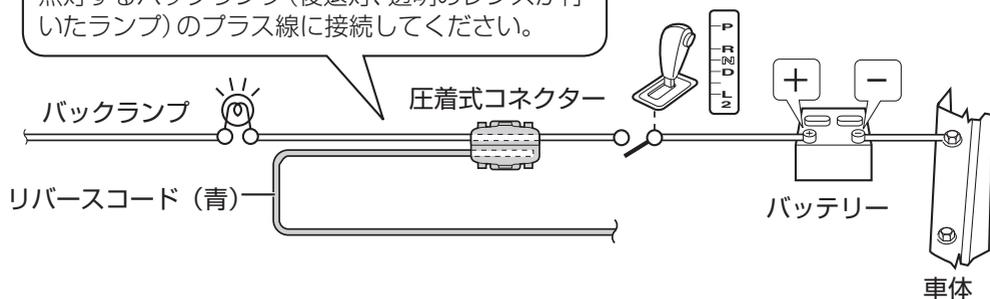
## 作業の順序

- ① バッテリーの⊖端子をはずす。
- ② 配線する。
  - ショート事故防止のため、電源コードのコネクタは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
- ③ 取り付ける。
- ④ バッテリーの⊖端子を、もとに戻す。

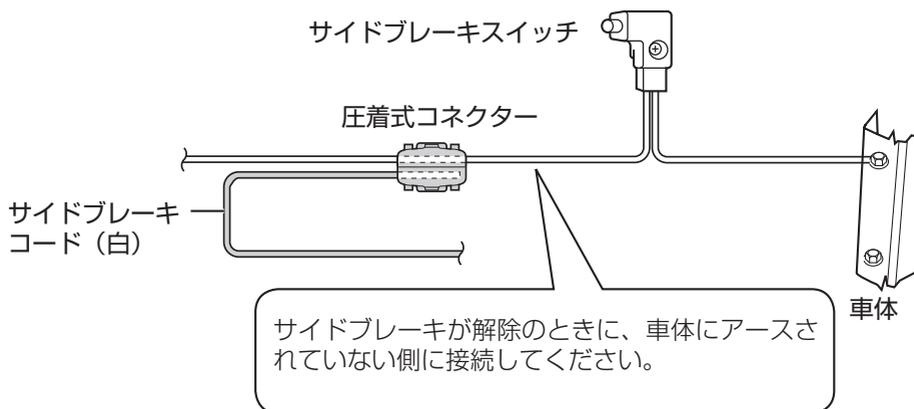


## リバースコードの配線

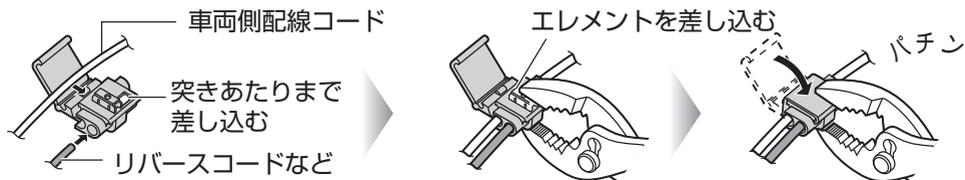
車のシフトレバーをリバース (R) に入れたときに点灯するバックランプ (後退灯、透明のレンズが付いたランプ) のプラス線に接続してください。



## サイドブレーキ信号の配線



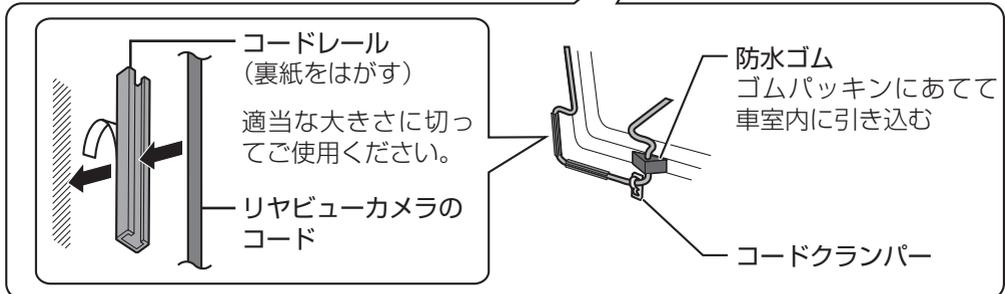
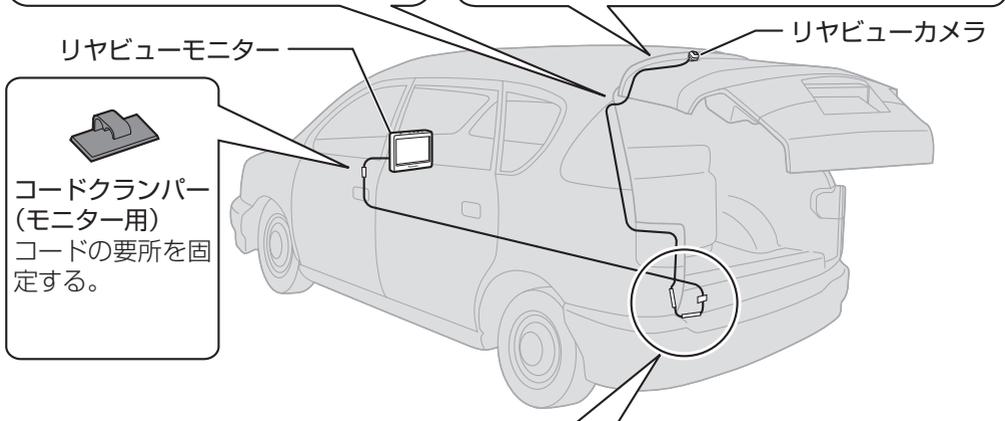
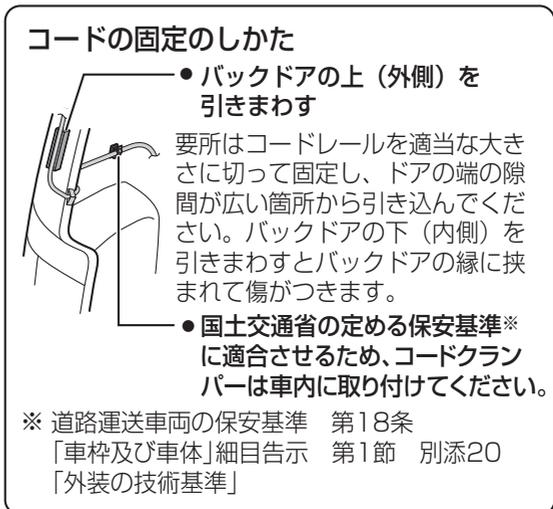
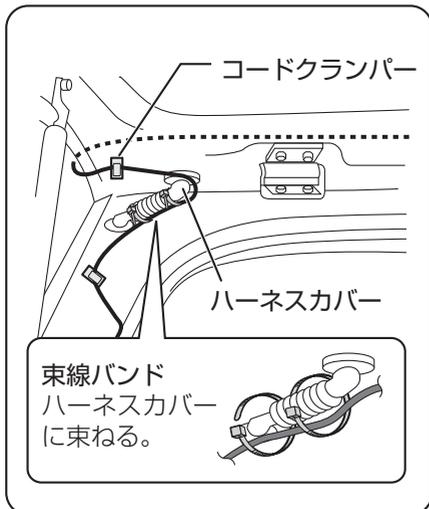
### ■ 圧着式コネクターの取り付けかた



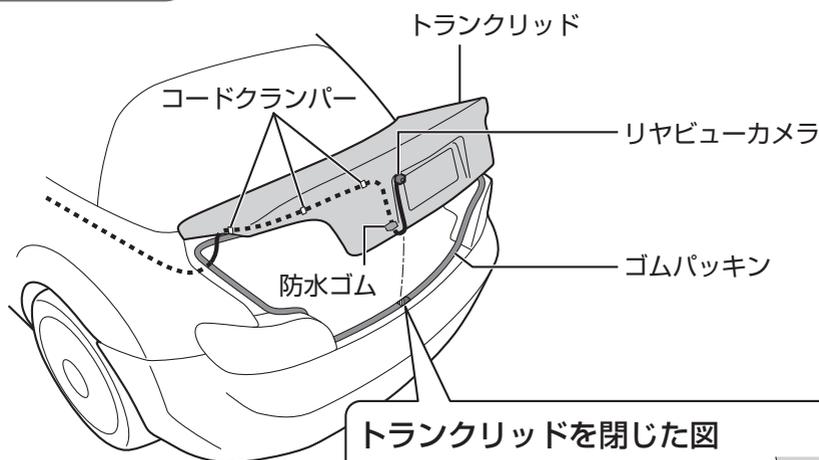
# コードの引き回し(例)

- 雨水などが浸入しないようにカメラのコードを引き込んでください。
- ドアの開閉でコードが引っぱられないように、コードを余分にたためせて引き回してください。

## 1BOXタイプ



セダンタイプ



トランクリッドを閉じた図



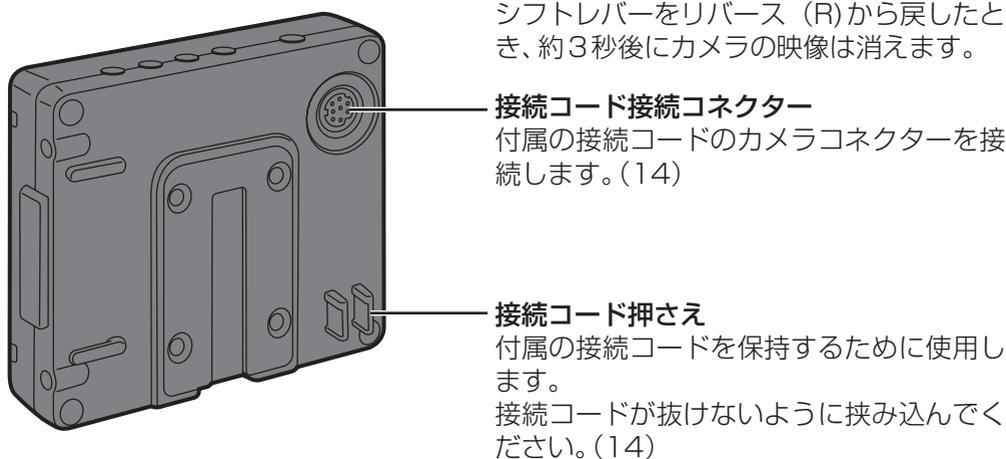
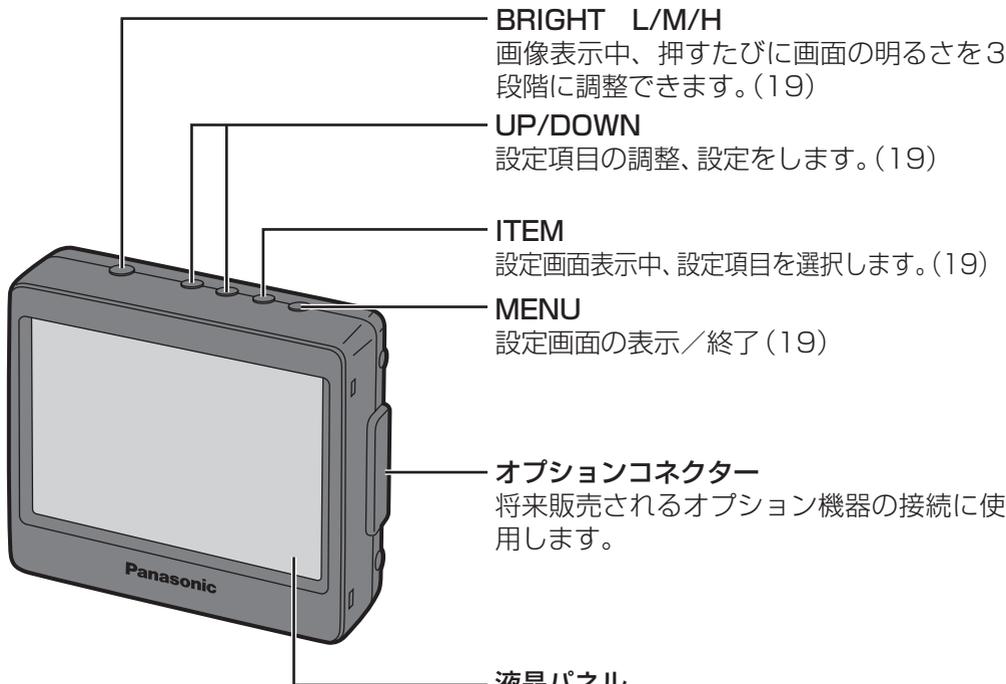
防水ゴムはトランクリッドを閉じたときにゴムパッキンに平行にあたるように取り付けてください。

お願い

- バックドアやトランクリッドをゆっくり開閉し、カメラのコードがバックドアの縁に挟まれて、こすれていないか十分に確認してください。傷の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれて故障の原因となります。
- カメラのコードはアンテナコードからできるだけ離し、引き回してください。(テレビ、ラジオの音声に雑音が入ることがあります。)
- AMラジオ放送に雑音が入るときは、車両のワイヤーハーネスからカメラのコードを離してください。

# リビューモニター各部の名称とはたらき

( )内は参照ページです。



# リビューモニターの調整

ボタン位置→18ページ「レビューモニター各部の名称とはたらき」

## 明るさの調整

画像表示中、画面の明るさを3段階に調整できます。

[BRIGHT L/M/H] を押すたびに、切り換わります。

“L” (やや暗い) → “M” (標準) → “H” (やや明るい)

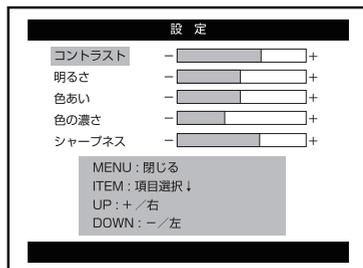
一番見やすい明るさに設定してください。

## 初期設定を変える場合には

### ① [MENU] を押す。

設定画面が表示されます。

- 設定画面は2ページあります。



### ② [ITEM] を押して、設定を変更したい項目を選ぶ。

- 次のページを見るには、最後の項目まで進み、もう一度 [ITEM] を押す。
- 前のページに戻るには、最後の項目まで進み、もう一度 [ITEM] を押す。

### ③ [UP]、[DOWN] を押して、設定する。

DOWN: - / 左の方向へ移動します

UP: + / 右の方向へ移動します



## ■ メニュー (1 ページ目)

コントラスト	-: 白と黒の差が小さくなる	+: 白と黒の差がはっきりする
明るさ	-: 暗くなる	+: 明るくなる
色合い	-: 緑色が強くなる	+: 赤色が強くなる
色の濃さ	-: 色が薄くなる	+: 色が濃くなる
シャープネス	-: くっきり感が減り、おだやかな画像	
	+: くっきり感が増す	

## ■ メニュー (2 ページ目)

色調	ノーマル (標準)	ウォーム (暖かい感じ)	クール (冷たい感じ)
言語 (メニュー言語を選べます)	日本語 English (英語)		
初期化 (設定をお買い上げ時の状態に戻します。)	項目を選んだ状態で、[UP] または [DOWN] を押すと実行します。		

### ④ [MENU] を押す。

設定画面が終了します。

# 故障かな!? ( )内は参照ページです。

症 状	原 因 と 処 置
カメラ映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定や各コードの接続をご確認ください。</li> <li>● ヒューズが切れている。 → お買い上げの販売店にご相談ください。</li> <li>● カメラが接続されていますか？ → カメラの配線を確認する。</li> <li>● カメラコネクターが外れていませんか？ → カメラコネクターを確実に差し込んでください。(14)</li> </ul>
映像が暗い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 明るさは正しく調整されていますか？ → 明るさ調整で見やすい明るさに調整する。(19)</li> <li>● 低温になると、画像が暗くなったり、出画が遅くなったりすることがあります。また、映像の動きに違和感(残像など)が出たり、画質が劣化したりすることがあります。 (使用温度範囲: - 10℃~+ 50℃) → 故障ではありません。常温になってから使用してください。</li> <li>● シフトレバーがリバース(R)に入っていますか？ → リバース(R)に入れ、リヤビューカメラに切り換える。</li> </ul>
映像がゆれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源を一箇所から集中して接続していませんか？ → 各機器の電源接続を分散する。</li> <li>● バッテリーの能力以上の電力を消費していませんか？ (エアコン、フォグランプなど) → 使用する機器を制限する。</li> </ul>
映像の色が実際と異なる 色がにじむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機は、近赤外線の光波長まで感度範囲をのぼし、夜間の感度を向上させているため、周囲の光源の種類により被写体(写す物体)の色とは異なって見える場合があります。 → 故障ではありません。</li> <li>● 本機は、広範囲を写すために広角レンズを使用しているため、画面の周囲に、収差(光ったものなどに着色する現象)や色のにじみが発生します。 → 故障ではありません。</li> </ul>
映像が不鮮明	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カメラに泥やほこりがついていませんか？ → レンズの汚れを拭いてください。(8)</li> <li>● 液晶パネルに汚れが付いていませんか？ → 液晶パネルが汚れたときは、柔らかいクロスで、パネルにキズなどがつかないように軽く拭いてください。</li> </ul>
画面に白線 (光の縦線)が出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 太陽光を直接映したり、強い光(バンパーからの反射やヘッドライトなど)が入射した場合、光源の上下に明るい縦線が現れることがあります。(スミア現象) → 故障ではありません。</li> </ul>
画面に赤、青、緑または 白点が出る 画素抜け(黒色)がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは、精密な技術でつくられています。画素欠けや常時点灯する場合があります。 → 故障ではありません。</li> </ul>
画面がちらつく	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 蛍光灯などで照らされた場所を映した場合、画面がちらつくことがあります。(フリッカー現象) → 故障ではありません。</li> </ul>

症状	原因と処置
画面が見えにくい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 暗いところを映したとき、部分的に明るい光を映したとき、カメラが高温のとき、画面が見えにくくなることがあります。 → 故障ではありません。</li> </ul>

- 太字の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

## 仕様

リビューモニター (モニター品番: GPPD107MJ)	
画面サイズ	3.5型
映像方式	NTSC方式
画像素子	TFT アクティブマトリックス
画素数	320 x 3 (RGB) x 240ドット
映像入力	カメラ入力 MinDIN 8 Pin 75 Ω 終端 1 Vp-p オプション入力 DIN10 Pin 75 Ω 終端 1 Vp-p
コントロール	コントラスト 明るさ 色あい 色の濃さ シャープネス 色調 言語 初期化
外形寸法	横85 mm×高さ 80 mm×奥行 21.3 mm (突起部を除く)
質量	約130 g

レビューカメラ (カメラ品番: GPKD4M17RS)	
出力映像	広角鏡像(後方確認用)
撮像素子	カラー CCD 固体素子 1/4型
有効画素数	約25万画素
レンズ	広角 焦点距離 f=1.94 mm F値 1: 2.8
画角	水平: 134° 垂直: 103°
S / N 比	46 dB以上(推奨照度にて)
水平解像度	330 TV本(中心部)
照度範囲	約1.5 lx ~ 100 000 lx
映像出力	1 Vp-p (75 Ω)
外形寸法	横42 mm×高さ 25 mm×奥行 32 mm (コード長8 m、背面突出部を除く)
質量	約145 g(コードを含む)

共通	
使用電力	DC12 V マイナスアース
消費電力	約3.0 W(約0.25 A) (レビューカメラON時)
使用温度範囲	- 10 °C ~ + 50 °C
保存温度範囲	- 20 °C ~ + 80 °C

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書のイラストや画面はイメージであり、実際と異なる場合があります。

